

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法	日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告をすることができな い場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方 法とする。
公 告 掲 載 サイトアドレス	http://www.slc.jp

ホームページのご案内

当社では、会社案内、IR情報など豊富なインフォメーションを掲載しております。
今後も株主・投資家の皆様に向けて情報を迅速に提供してまいりますので、どうぞご
利用下さい。



<http://www.slc.jp>



株主通信 第41期 中間報告書

2008年4月1日から2008年9月30日まで



システム・ロケーション株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第41期中間期（2008年4月1日から2008年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は、1992年に自動車ファイナンス事業者への業務支援会社として創業し、更に自動車の資産価値を評価するシステムを構築し業容の拡大をはかってまいりました。

このシステムは、自動車の将来の価値を算出する「残価算出システム」、自動車の現在価値を算出する「現在価値算出システム」および国産・輸入車を96,000車種に区分し詳細仕様を収録する「車種カタログデータベース」の3種類からなっています。

このシステムを組み合わせることで、リースやローンの見積もりが瞬時に計算され提示することが可能になりました。

自動車業界は景気後退で自動車販売は低調をきわめていますが、「残価ローン」が新しい販売手法として脚光を浴びています。このローンの基幹部に当社の残価算出システムが採用されています。

また、トラックは資産価値が高く中古車流通市場や経済産業省が推進する動産担保ローンの評価物件として各方面からシステム開発の要請を受けていましたが、商品化しサンプル出荷をはじめました。

当社のシステム事業は、先般サービス産業生産性協議会が選出する「第3回ハイ・サービス日本300選」の受賞に結びつきました。

このような企業活動を進めてまいりましたが、当社の主力得意先のオートリース業界の低迷など経営環境はきわめて厳しい状況になってまいりました。

この結果、主力の再販業務支援（オークション事業）は出品車両の減少と出品料の値下げ、システム業務支援事業はシステムレンタル料の収入増、新規顧客開拓を推進してまいりましたが、当中間期の売上高は644百万円（前年同期比11.2%減）、経常利益は105百万円（前年同期比44.6%減）、中間純利益は57百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にそうべく一層の経営努力を重ねてまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年12月

代表取締役社長 千村 岳彦

事業紹介

【再販業務支援（オークション）事業:オートリース業界とともに成長】

当社はリース期間が終了した車のオークションの運営で事業を開始しました。オートリース業界は最近10年間で年率4%と安定した成長を遂げています。全国10ヵ所の会場で年間150回オークションを開催し平均落札率は95%を誇っています。

【システム業務支援事業:自動車販売のサポート】

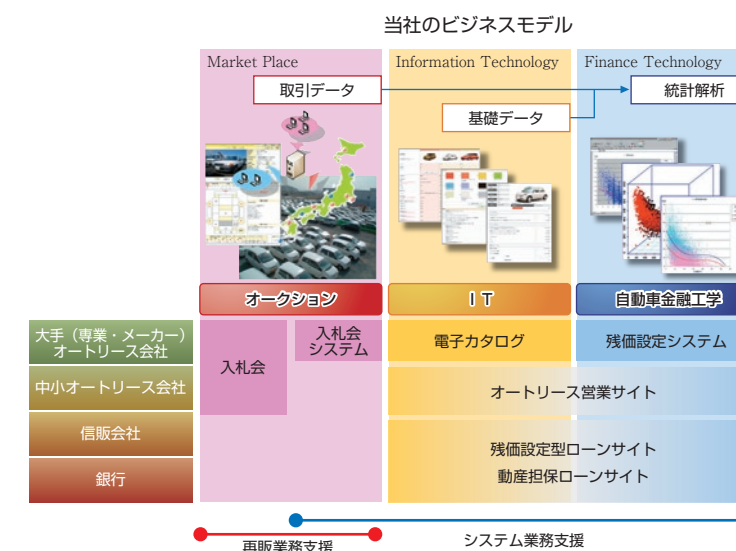
自動車販売の低迷をうけて昨夏から新しい販売手法として「残価ローン」が積極的に始まっています。これは購入した自動車の将来の買取り額を保証するものです。ローン期間が終了した後、①新車に買い換える、②車両を返却、③車両の買取りの3点からお客様が選べるものです。当社は膨大な車両情報や市場動向データをもとに独自開発のシステムを構築し自動車メーカー系ファイナンス会社に残価算出システムを提供しています。

【新たな事業展開:中古機器やトラックの資産価値の算出】

産業機器やオフィス機器でリース期間を終了した中古機器をインターネットで競売するサイト「リユースタウン」の展開を始めました。

また、トラックの残価算出システムをわが国で初めて商品化しました。トラックの荷台は様々な装装が施されていて資産価値の算出は困難と言われてきましたが、40車種を超える種別に分類し恣意性を排除した資産価値の算出に成功しました。

当社はオークション事業で培ったノウハウで、新たな市場を開拓しています。



財務諸表（連結）

四半期連結損益計算書

区 分	当第2四半期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
売上高	644
売上原価	275
売上総利益	369
販売費及び一般管理費	240
営業利益	129
営業外収益	6
営業外費用	30
経常利益	105
特別利益	1
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	106
法人税、住民税及び事業税	58
法人税等調整額	△ 9
法人税等合計	48
四半期純利益	57

(参考)

区 分	前第2四半期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
売上高	725
売上原価	302
売上総利益	423
販売費及び一般管理費	236
営業利益	186
営業外収益	6
営業外費用	2
経常利益	190
特別利益	0
特別損失	0
税金等調整前中間純利益	191
法人税、住民税及び事業税	104
法人税等調整額	△ 4
中間純利益	91

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	当第2四半期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 109
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 569
現金及び現金同等物の期首残高	1,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,110

(参考)

区 分	前第2四半期 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 106
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 28
現金及び現金同等物の期首残高	1,762
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,734

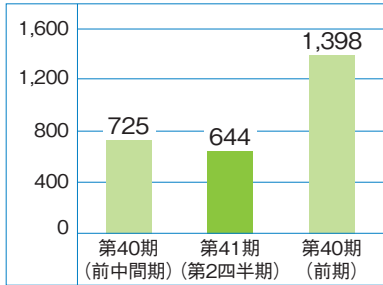
四半期連結貸借対照表

区 分	当第2四半期 (2008年9月30日)	前 期 (2008年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	1,355	1,880
現金及び預金	1,055	1,605
売掛金	60	74
営業未収入金	45	30
有価証券	124	124
商品	1	0
仕掛品	6	3
貯蔵品	0	0
その他	85	42
貸倒引当金	△ 24	△ 0
固定資産	797	829
有形固定資産	191	155
無形固定資産	154	123
投資その他の資産	452	550
資産合計	2,153	2,710

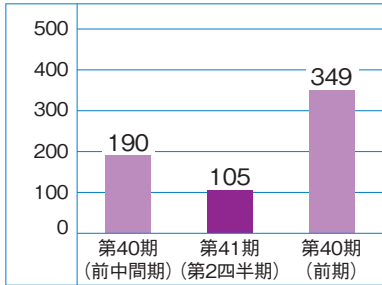
区 分	当第2四半期 (2008年9月30日)	前 期 (2008年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	635	1,111
買掛金	23	29
営業未払金	459	892
未払法人税等	59	94
賞与引当金	14	14
その他	77	80
固定負債	111	110
退職給付引当金	10	9
役員退職慰労引当金	96	92
負ののれん	0	0
その他	3	8
負債合計	746	1,222
(純資産の部)		
株主資本	1,371	1,423
資本金	191	191
資本剰余金	191	191
利益剰余金	997	1,046
自己株式	△ 8	△ 6
評価・換算差額等	34	64
その他有価証券評価差額金	44	64
為替換算調整勘定	△ 9	—
純資産合計	1,406	1,487
負債純資産合計	2,153	2,710

連結財務ハイライト

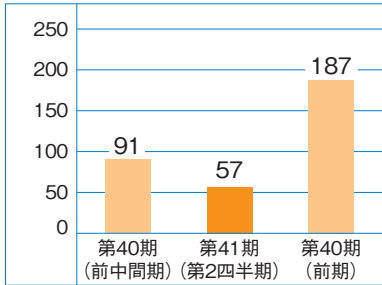
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



TOPICS

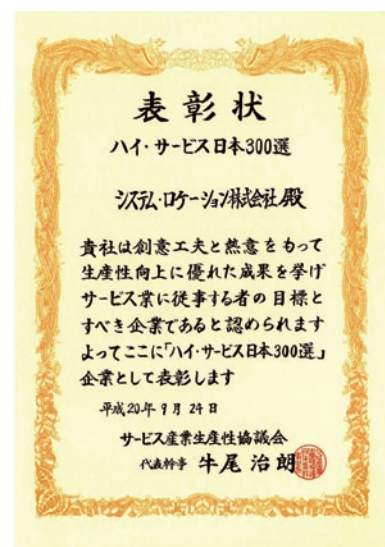
第3回ハイ・サービス日本300選受賞

当社は、財団法人社会経済生産性本部 サービス産業生産性協議会が主催する「第3回ハイ・サービス日本300選」に選出されました。

この賞は、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組みを行う企業や団体を表彰し、優良事例を広く紹介することでサービス産業全体の質的向上を目指すものです。

当社選出理由は「科学的な残価算出システムの開発で車両の資産評価を可能にしたことで科学的・工学的アプローチ分野での受賞となりました。

「ハイ・サービス日本300選」は平成19年5月にサービス産業の生産性向上を国民運動として推進すべくサービス産業生産性協議会が設立され、3年間で300社の優良企業を選出するものです。



株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数 7,698,000株
発行済株式の総数 3,570,000株
株主数 459名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
有限会社タイムラー	1,710,000株	47.89%
千村岳彦	960,000	26.89
小堀元裕	185,400	5.19
千村久湖	90,000	2.52
関家一馬	58,000	1.62
日本証券金融株式会社 (業務口)	33,600	0.94
山下吉宏	31,900	0.89
小堀剛	30,000	0.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	26,400	0.73
アイエム投資事業組合	18,000	0.50

会社の概要 (2008年9月30日現在)

会社概要

事業内容 オートファイナンス事業者向け業務支援
設 立 1968年4月1日
創 業 1992年7月1日
資 本 金 191,445,000円
代 表 者 代表取締役社長 千村 岳彦
従業員数 41名
所 在 地 〒102-0076
東京都千代田区五番町12番地1 番町会館
Tel.03-3234-1058 / Fax.03-5226-0041
関連会社 ジェイ・コア株式会社

役員

代表取締役社長 千村 岳彦
常 務 取 締 役 前田 格
取 締 役 橋本 祐紀典
取 締 役 内村 裕一
社 外 取 締 役 神野 吾郎
社 外 取 締 役 今井 三義
常 勤 監 査 役 井坂 俊達
監 査 役 永野 竜樹
監 査 役 小島 晃

■当社グループの上半期の主な行事を紹介します。

主な出来事	IR関係
2008年 1月 株式会社オリエントコーポレーションに残価算出システムの提供 5月 株式会社ジェイ・イー・エーのオークションサービス「JAAWEB」と接続する業務提携を締結 6月 リース期間終了物件をネットで競売するサイト「リユースタウン」を開設 9月 第3回ハイ・サービス日本300選受賞 9月 名古屋入札会場移設 (弥富市) 10月 トラックの資産価値算出システムを開発	2008年 5月 決算発表 マスコミ向決算説明会 アナリスト向決算説明会 5月 { one-on-oneミーティング 9月 6月 株主総会



くるま市場神戸